平成31年度　芸術

学校番号	2001

教科	科目	必修／選択	単位数	指導学年
芸術	書道Ⅰ	選択	1＋1	第1年次前期・後期

教科書・副読本・問題集 No.	分類	教材名
①	教科書	書道Ⅰ（教図）
②	副読本	ペン習字の基礎
③	自作教材	プリント
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		

学習の到達目標

書道の幅広い活動を通じて、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力の向上を図る。表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、実践できるようにする。また、書の伝統と文化についての理解を深める。

教科からのメッセージ（学習方法 等）

古典（中国・日本で名筆として今日まで伝わる書）や近現代の作品に触れ、深く味わう中で書の表現や鑑賞の基本的な能力を身につけ、作品作りを行う。

特記事項

必履修科目。「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」または「書道Ⅰ」を卒業までに必ず履修しなければならない。

学習評価（評価規準と評価方法）

観点		観点の趣旨	主な評価方法
A	書への関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、書写能力を高めようとし、自ら表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	作品・課題提出、授業参加状況等
B	書表現の構想と工夫	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、創意工夫し、自らの意図を表現しようとしている。	作品・課題提出、授業参加状況等
C	創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、書の基本的な表現の技能を身につけ、効果的に表している。	作品・課題提出、授業参加状況等
D	鑑賞の能力	文字や書の伝統と文化について深く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。	作品・課題提出、授業参加状況等
E			

年間（学期間）指導計画

学期	期間	教材	単元	配当時間	学習内容	評価観点	単元目標（CAN-DO）／単元（題材）の評価規準	主な学習活動	主な評価方法	評価
前期	第一中間まで	①②③	書について 漢字の書(楷書)	12	書写から芸術書へ（楷書）へ(ACD)	ACD	書写を復習し古典書へ。古典書の楷書を鑑賞し、それぞれの違いを理解し表現する。(ACD)	中国の有名な書（楷書）を臨書	古典書の特徴の違いを理解しているか。 その違いを表現出来ているか。 提出作品 授業への取り組み	5 4 3 2 1
前期	第二中間まで	①②③	漢字の書 (楷書・行書)	12	古典書の追及(ABC)	ACD	楷書・行書の古典書を鑑賞し、それぞれの違いを理解し表現する。(ACD)	楷書・行書の古典臨書 小筆で漢字を書く	古典書の特徴の違いを理解しているか。 その違いを表現出来ているか。 提出作品 授業への取り組み	5 4 3 2 1
前期	期末まで	①②③	漢字の書（行書・草書） 副読本・硬筆の宿題	12	古典書の追及(ABC) 硬筆(ABC)	ABC	楷書・行書の古典書を鑑賞し、それぞれの違いを理解し表現する。(ACD)	古典書を深く理解するため様々な課題を書く。	古典書の特徴の違いを理解しているか。 その違いを表現出来ているか。 提出作品 授業への取り組み 副読本の宿題	5 4 3 2 1
後期	第一中間まで	①②③	漢字の書 (隷書、篆書) 篆刻	12	古典書の追及(ABC)	ABC	隷書・篆書の古典書を鑑賞し、それぞれの違いを理解し表現する。篆刻（石に名前を刻す）の基本的な手順を理解し作品として作成する。	古代書を幅広く体験する。	古典書の特徴の違いを理解しているか。 その違いを表現出来ているか。 提出作品 授業への取り組み	5 4 3 2 1
後期	第二中間まで	①②③	創作書 （半紙・はがき・カレンダー）	12	漢字を創作する。漢字仮名交じりの書を体験する。	ABC	今まで基本的な書を体験した。それを応用し創作書へと発展させる。	半紙・はがきに創作漢字書。カレンダーに漢字仮名交じり書を作成。	創意・工夫された作品、個性的な作品が出来ているか。 提出作品 授業への取り組み。	5 4 3 2 1
後期	期末まで	①②③	仮名の書 硬筆の宿題	12	小筆を使用し仮名を書く(AB) 硬筆(ABC)	ABC	仮名を書くときのポイントを理解し表現する。(AB)	仮名の古典書。	小筆を使いこなせているか。 提出作品 授業への取り組み。 副読本の宿題	5 4 3 2 1